



# 図書館だより



2024年  
5月31日発行

秋草学園高等学校 図書館

5月も残りあとわずか。すぐに桔梗祭体育大会になります。今年は気温の変化が激しく、寒かったり暑かったりが続き、まだ身体が気候になじめていない気がします。運動がよい刺激になって、リセットできるとよいですね。好天の下、身体を動かして一日を過ごすのは、今の季節だからこそ味わえる気持ちの良い過ごし方です。そうして、実際に自分の五感を活用した経験は読書にも反映され、よりリアルに読み取れるようになるはず。さあ、外へ！

## ポローニャ国際児童図書展

ポプラ社がポローニャ国際児童図書展アジア部門で「最優秀児童書出版社賞」を、受賞しました！

日本では2018年の福音館の受賞以来2社目の受賞。

ポプラ社の作品としてはヨシタケ シンスケ 著『**あんなに あんなに**』が9か国で出版され、また世界26言語28地域に翻訳された青山美智子 著『**お探し物は図書室まで**』は2023年米・TIME誌の「今年読むべき100冊」に選ばれました。また宮西達也 作・絵の「**ティラノサウルスシリーズ**」は今後3Dアニメ化される予定です。ポプラ社は今後も世界の子どもたちに良質な作品を届け、海外展開を推進していくそうです。

イタリアのポローニャで毎年春に開催されるこの児童図書展は国際的な見本市で、ほかにもポローニャ国際絵本原画展なども併設しています。こちらは、7月に板橋区立美術館で巡回展が開催されるようです。世界中から集まる絵本の原画はそれぞれ趣が異なり、眺めるだけでも楽しそうです。



### 913.6-ア 『お探し物は図書室まで』

青山 美智子 著 ポプラ社

羽鳥コミュニティハウスにある図書室。本を借りにきた人だけでなく、それぞれに問題を抱えた人も訪れます。

「何をお探し？」司書の小町さんは、その人にぴったりの本のリストを渡します。本を借りると、なぜか羊毛製のマスコットまでおまけに付けてくれます。

### E-3 『あんなに あんなに』

ヨシタケ シンスケ 著 ポプラ社

子どもの成長を豊かに感じられる絵本です。ささやかだけれども、繰り返される“ことば”によって、親の愛や時間の流れを超える思いの深さが伝わります。



## 続々増殖中！ お芋本たちより紹介

芋づる式読書 MAP から

→#親子愛→

### 932-0 『ハリー・ポッターと呪いの子』 J.K.・ローリング 著 実業之日本社

親を知らずに育ったハリーも、二男一女の父親になり、今度は息子たちがホグワーツで学び始めます。イギリス発のお芝居の脚本です。ハリーの息子なのも、楽じゃない！

→#世界が変わる→

### B913.6-オ 『密やかな結晶』 小川 洋子 著 講談社

その島では一つずつながか消滅していきます。リボン、鈴、香水、鳥、フェリー。小説が消滅すると人々は本を焼き捨てます。さらには自分の一部さえ失いはじめ…。



## 新着コーナーの気になる本

### B913.6-イ 『プラスチック』

井上 夢人 著 講談社文庫

2024年本屋大賞 発掘部門「超発掘本！」に選ばれたミステリー小説。フロッピーには54個ものファイル。その中には日記や手記が残されていました。主婦、向井洵子の日記では、自分のなりすましの様な奇妙な出来事に遭遇したことが記録されていますが、果たして真相は。

### 297-ミ 『ダイナミックな自然とレトロかわいい町 ハワイ島へ』

三谷 かおり 著 イカロス出版

ハワイの一大観光地といえばオアフ島のホノルル。ですがこの本ではハワイ島のみフィーチャーし紹介されています。大自然とレトロな建築物、そして新しいハワイ島の魅力が詰まっています。写真だけでも素敵です。

## 司書の今月はこの本読みました



第21回『このミステリーがすごい！』大賞で「文庫グランプリ」を受賞した『**レモンと殺人鬼**』くわがき あゆ 著 宝島社 を読みました。容姿にコンプレックスがある主人公の美桜。妹の妃奈が遺体で発見されるが、マスコミによって、生前保険金殺人をしていたとの疑惑をかけられる。その疑惑を晴らすために奔走する美桜。二転三転する展開に、まだ中盤でしたが、結末なのでは？というくらいに驚かされました。また後半の伏線回収やラストは、殺人鬼が登場するミステリーながらレモンの様な爽快感さえありました。主人公に共感できますか？【吉村】